

学習院大学史料館平成29年度春季特別展

宮廷装束の世界

掲載写真 | 喜多川平朗旧蔵大正大礼調度及装束裂等貼交屏風(部分)

2017年4/1(土)~5/27(土)

入場
無料

開室 | 月~土曜日 10:00~17:00 閉室 | 日曜日・祝日 会場 | 北2号館1階 学習院大学史料館展示室

※4/16(日)「オール学習院の集いの日」は特別開室します。
※期間中に展示替えを行います。

※Twitterで展覧会や当館の活動に関する情報をお届けします。

宮廷装束の世界

<https://twitter.com/kyoutogakushuin>



【関連講座】第82回学習院大学史料館講座

「公家・女房装束の着装と解説」

日時 | 2017年5月13日(土) 14:00~15:30(終了予定) 講師 | 一般社団法人霞会館・衣紋道研究会
会場 | 学習院創立百周年記念会館正堂 ※入場無料 事前申し込み不要

【ギャラリートーク】

日時 | 4月16日(日)、5月20日(土)

※いずれも14:00から30分程度、展示室内にて



①



②

宮中の装い、いまここに。

日本の宮廷を華やかに彩る「衣冠束帯」や「十二単」と呼ばれる公家・女房装束は、律令制と共にその祖形が大陸からもたらされ、豊かな日本の四季の中で変化してきました。応仁・文明の乱による途絶のち、太平の江戸時代には、古代以来蓄積された有職故実の知識が深められ、装束の再興がはかられたのです。

洋装が取り入れられた近代の皇室では、祭祀・儀礼の装束として保存され、現在まで継承されてきました。そこには、日本の伝統文化や国産品の保護という、皇室の大きな役割を見て取ることが出来ます。この展覧会では公家・女房装束を、染織・工芸・絵画・史料などから多面的に紹介し、近代皇室の御装束を中心として展示いたします。華やかな装束の世界を存分にお楽しみください。

主な 展示品の 紹介

・北白川宮永久王殿下御料浅黄調腋束帯 ①

（一般社団法人皇典・衣冠研究会蔵）
浅黄調腋束帯は、未成年の男性皇族が、御成年式加冠の儀に際して着用したもの。

・北白川宮永久王妃祥子殿下御料五衣唐衣裳 ②

（一般社団法人皇典・衣冠研究会蔵）
祥子妃殿下が、昭和10年（1935）4月26日の御結婚式に際して着用した、いわゆる「十二単」。

・山階芳庵侯爵夫人寿賀子所用桂 ③

（山階侯爵御所より提供）

・寛形鴛鴦文ボンボンエール ④

昭和天皇立太子礼
（複製）

・西陣大倉人座文書 ⑤

（個人蔵）
足利将軍・御台所の被官人となった大倉人座の人々の職階の技を保護するため出されたもので、昨年この原本が確認された。

・大正・昭和・平成大礼 挿華 ⑤

（個人蔵・複製）
大正・昭和・平成の即位礼と大嘗祭（だいじょうさい）後大宴（だいせう）第一日の櫛に際して、参列者に賜った絛製の遣花。

・喜多川平明日藏大正大礼調度及装束裂等貼交屏風 ⑥

（個人蔵）



③



④



⑤



⑥

お問い合わせ

学習院大学史料館 <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/>

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 TEL03-5992-1173 FAX03-5992-9219